

シルバー連合

おおいた

No.
21

平成24年度事業計画

- シルバー事業の趣旨等の周知
- 広域需給調整
- シルバー設置促進指導等
- 無料職業紹介事業
- 一般労働者派遣事業
- 調査研究事業
- 普及啓発
- 安全適正就業の推進
- 就業分野の開拓・拡大
- その他事業を発展・拡充するための情報提供、指導・助言等
- 企画提案方式による事業
- 技能講習等事業
- 職場体験事業



公益社団法人 大分県シルバー人材センター連合会

〒870-0026 大分市金池町一丁目1番1号 大交セントラルビル5階

TEL 097-540-6313 FAX 097-540-6315

大分の国宝シリーズ⑥

龍岩寺[重要文化財(国指定)]

龍岩寺(りゅうがんじ)は、大分県宇佐市院内町にある曹洞宗の寺院。山号は清浄山。

天平18年(746年)に、宇佐神宮を参詣した行基が龍女に導かれ、一夜にして阿弥陀如来、薬師如来、不動明王の三尊を刻み、開山となって諸堂を建立したといわれる。行基が全国に建立した49の院のひとつで、院内(いんない)の地名の起源であるという説もある。

寺院は、天正年間(1573年-1592年)にキリシタン大名大友宗麟による焼討ちに遭い焼失したが、奥の院と本尊の三尊は難を逃れ、現在は重要文化財に指定されている。

- ・木造阿弥陀如来坐像(1949年5月30日指定)
- ・木造不動明王坐像(1949年5月30日指定)
- ・木造薬師如来坐像(1949年5月30日指定)

阿弥陀如来坐像、薬師如来坐像、不動明王坐像の三尊は、平安時代後期の作とされる、樟の一本造・白木の像で、一本の楠の大木から作られたと伝えられる。彩色、切金等の装飾を一切行わず、衣文の細部を略して平面的に処理する、特異な様式の像である。奥院礼堂内に自然の岩壁を背景に安置されている。

- ・龍岩寺奥院礼堂(1954年9月17日指定)

奥の院は、大分県内唯一の鎌倉時代の木造建築である。鳥取県の三仏寺投入堂と同じように、岩の窪みに張り付くように建てられた懸造の仏堂。正面3間、側面2間で、屋根は緩やかな片流れの板葺である。奥の院に架かる階段は、三尊を刻んだ残りの丸太を削って造られたものと伝承されるもので、「きざはし」と呼ばれ、他には伊勢神宮にしかない珍しい様式のものとする。



- 3 ごあいさつ
- 5 定時総会
- 6 支援要請行動
- 7 活動拠点紹介
- 8 普及啓発
- 9 安全・適正就業
- 10 安全・適正就業(標語)
- 11 センター活性化人材育成事業
- 12 指導・研修
- 12 派遣登録会員教育訓練
- 13 シニアワークプログラム技能講習
- 14 シニアワークプログラム職場体験
- 15 諸会議、編集後記
- 16 会員名簿

ごあいさつ



「シルバー事業の刷新・拡大強化を」

公益社団法人 大分県シルバー人材センター連合会
会長 久 渡 晃

皆様方には、シルバー人材センター事業に平素から一方ならぬご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年4月1日には、大分県下のシルバー人材センターが一部を除き、それぞれ公益社団法人として再出発し、様々な仕事を通して、地域のまちづくりに大きく貢献されております。

また、今年も、玖珠町においても、新たにシルバー人材センターが設立される予定となっており、県下全域で、高齢者の方々の活躍できる場所が着実に広がっております。

ご案内のように、シルバー人材センターの役割については、昨年9月に閣議決定をされた「高齢社会対策大綱」においても、多様な形態による雇用、就業機会の確保策として、「特に、退職後に臨時的、短期的、又は、軽易な就業等を希望する高齢者等に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供するシルバー人材センター事業を推進する」とされており、今後とも、その果たす役割は、ますます重要なものとなってまいります。

一方、高齢者人口も、今や、全国で3000万人を突破し、平成47年には、国民の3人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎えることとなります。

大分県内の高齢化の状況を見ましても、全国平均を上回るスピードで進行しており、これから、かつてない超高齢社会となり、医療・介護保険・福祉といった財政支出を伴う負荷が重くのしかかって来ることは間違いありません。

しかしながら、シルバー事業の現状を見てみますと、ここ数年、長引く景気低迷の影響で、その事業実績は停滞傾向にあり、さらに、シルバー事業に係る国庫補助金予算額は、過去2年間にわたる大幅削減の影響を受け、各シルバー人材センターの運営も、苦境に陥って危機的な状況が見られるところであります。

そのような中、昨年暮れ、シルバー人材センターが急増する高齢者の受け皿としての機能を十分に果たすため、国庫補助金の確保と公共事業の発注など特別な配慮をしていただくよう政府に対する本部行動と併せて、大分県連合会といたしましても、関係機関へ要請行動を行ったところでございます。

高齢者の皆さんにとりましては、少子・高齢化、人口減少社会の中で、いつまでも元気に働くことで、社会の一員となれるとも言われており、また、介護や疾病に対する最大の予防策は、様々な仕事を用意し、社会のお役に立ちたいという願いに応じることでありとも言われております。

このようなことから、今後とも、県下の各シルバー人材センターの緊密な連携と協力によりまして、これからの超高齢社会に十分対応できるよう新たな事業の開拓と地域の日常生活に密着した仕事の提供をすることで、シルバー事業の一層の充実、強化に努めてまいりたいと考えております。

それでは、最後に、シルバー人材センター事業のますますの発展と皆様のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶とします。

ごあいさつ



大分労働局
職業安定部長 吉村 賢敏

シルバー人材センター並びに会員の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。
昨年4月1日付けで大分労働局職業安定部長を拝命いたしました吉村でございます。皆様どうぞよろしく申し上げます。

大分県に赴任して早くも1年近く経ちましたが、仕事だけでなく私生活においても、四季折々の海の幸、山の幸、魅力的な自然や全国一といわれる温泉を堪能しております。

さて、我が国においては、少子高齢化が急速に進展しております。また、働くことのできる無業者の労働市場への参入が進まない場合、就業者数が2020年までに約400万人減少するという試算もあります。これまで以上に、高年齢者が長く培ってきた豊富な知識や技能・経験を生かし、できる限り経済社会の担い手として活躍していける環境を整備していくことが重要です。

こうした状況の中、高年齢者が少なくとも年金受給開始年齢までは意欲と能力に応じて働き続けることのできる環境の整備を目的として、「高年齢者等の雇用の安定に関する法律」の一部が改正され、今年4月1日から施行されます。これと併せ、大分労働局といたしましても、年齢に関わりなく意欲と能力に応じて働くことができる「生涯現役社会」実現の推進に取り組んでいく所存です。

シルバー人材センターにおかれましては、高年齢者の生き甲斐の充実や社会参加を希望する高年齢者の就業機会を確保するため、「高年齢者就業機会確保事業」や「シニアワークプログラム事業」に積極的に取り組んでいただいております。

大分労働局といたしましても、シルバー人材センター事業が地域社会に根ざした事業として益々発展していくよう業務を推進してまいりたいと考えております。また、団塊世代が高年齢期を迎える中で、高年齢者の多様な社会参加の受け皿として、今後ますます期待されていくものと考えております。

最後になりますが、シルバー人材センターと関係者の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

平成24年度 定時総会の開催

平成24年6月13日(水) 大分第一ホテル「九重の間」において、公益社団法人として、初めての定時総会が開催されました。

久渡 晃会長のあいさつの後、来賓として大分労働局吉村職業安定部長、大分県商工労働部岩本審議監、大分市吉田商工農政部長の方々よりご祝辞を頂きました。



大分労働局吉村職業安定部長



大分県商工労働部岩本審議監



大分市吉田商工農政部長

議案

- 第1号議案 平成23年度事業報告について
- 第2号議案 平成23年度決算及び監査報告について
- 第3号議案 公益社団法人大分県シルバー人材センター連合会定款の一部改正(案)について
- 第4号議案 公益社団法人大分県シルバー人材センター連合会の会員会費規程の一部改正(案)について

議案審議の結果原案どおり議決されました。

第3号議案の概略

従たる事務所の追加、杵築市に設置する

第4号議案の概略

杵築市シルバー人材センター並びに杵築市に係る会費を改定する

続いて報告として

- (1)平成24年度事業計画について
 - (2)平成24年度収支予算について
- の説明を行いました。



活動拠点紹介

●シルバー人材センターの優良団体全国表彰

公益社団法人国東市シルバー人材センターが優良団体全国表彰を受賞

6月25日(月)の総会開催時に、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会設立30周年記念式典が行われシルバー人材センター事業関係功労者として公益社団法人国東市シルバー人材センターが「優良団体全国表彰」を受賞されました。

7月3日(火)には、小野理事長と綾部副理事長、瀬田事務局長が市役所を訪れ三河明史市長に受賞報告をしました。

今回の受賞は、市内60歳以上の人口に対する入会率、会員の就業率が高く、独自事業やボランティア事業などに積極的に取り組んでいることが評価されました。



活動拠点の紹介

公益社団法人国東市シルバー人材センター

国東市は、大分県の東北部に位置する国東半島のおおむね東半分を占め、平成18年4月1日に東国東郡安岐町、武蔵町、国東町、国見町の4町が合併し国東市が発足。併せて4町のシルバー人材センターも合併して設立され、平成24年4月1日に公益社団法人国東市シルバー人材センターに認定されました。

東は風光明媚な瀬戸内海国立公園に面し、西は六郷満山の中心とした兩子山系を境に扇状に集落が広がり、気候温暖な地域であります。

合併当時は、35,000人を数えた人口も平成24年3月末には31,743人と少子高齢化(約44%)が進み、特に山間地域では小規模集落が増えるとともに、水田・畑の荒廃が顕著となり猪・鹿等の増殖の場になり、周辺の農作物の食害及び環境美化にも大きく影響を来しています。

当センターは、平成21年度から企画提案方式事業「環境」分野で「仏の里グリーンアップ」事業として、遊休農地を活用して大豆を生産、味噌に加工して、食の安全・安心と、地産・地消を推進しています。また、もち藁を利用してのしめ縄・しめ飾りを作成し、安価で市民に提供してセンターの独自事業並びに会員の就業機会を図っています。

今年度から、「教育・環境」分野で、市の行政プランに沿った「青少年健全育成のための団体・組織の育成を図るとともに、これを中心に保育園、学校、家庭、地域及び行政が一体となった青少年育成ネットワークづくりの推奨」を取り入れた事業として、遊休農地を活用した「土と子どもとの体験学習」を図り、コーディネーター(会員)の指導により、園児・児童及び関係者に「えだまめ」の播種・芋苗の植栽、成長段階の観察、収穫、食材までに係わった「生産の喜び」を体験することによる健全育成活動を推進しています。



公益社団法人 国東市シルバー人材センター

●未設置地域の設置促進

玖珠町が平成25年4月1日シルバー人材センターの設立を目指して準備中です。

●調査研究事業

県内センターの事業運営状況等年報



安全・適正就業

安全・適正就業 推進委員会の開催

平成24年8月31日(金)



「刈払取扱作業者 教育講習」研修の実施

11月11日(日)大分県林業会館新館3階において実施され、35名の会員が受講しました。

受講修了者に肩章を配布し、安全意識の向上と他の会員に対する指導者として活躍を期待するものです。



安全啓発ワッペンの 配布

各センターに安全就業啓発ワッペンを配布、会員の方々が身に着け、日常的に安全就業の意識を高めていただけることを願っております。



年末年始重点安全パトロール

年末年始に重点的に各現場を訪問した安全パトロールを実施しました。

- 大分 / 1月17日
- 別府 / 12月17日
- 中津 / 12月18日
- 日田 / 11月28日
- 佐伯 / 12月6日
- 臼津 / 12月3日
- 宇佐 / 12月21日
- 豊肥 / 12月5日
- 国東 / 1月16日
- 豊高 / 1月24日
- 由布 / 11月29日
- 杵築 / 1月23日
- 日出 / 1月30日

